

来^{きた}年^{ねん}2月^{がつ}が熱^{あつ}い。カ^かレ^れー^い沢^{たく}薫^かの^たニヤ^や。出張^{しゅちやうばん}版^{ばん}。

お前は事業企画課長として 長年TOPを支配し続けた 黒い女帝カサハラ!!

TOP MUSEUM

2018年3月
で定年退職した
はずだニヤ!!

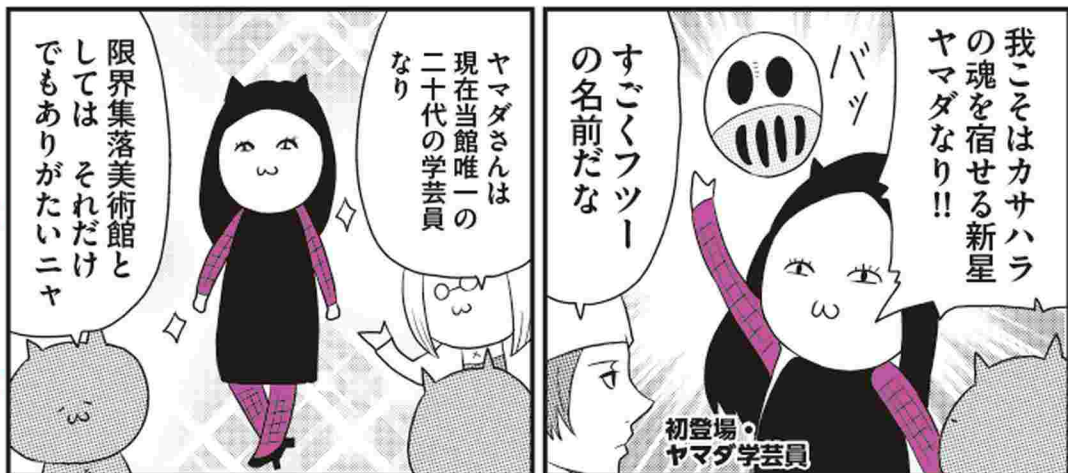


我こそはカサハラ
の魂を宿せる新星
ヤマダなり!!

すごくフツー
の名前だな

ヤマダさんは
現在当館唯一の
二十代の学芸員
なり

限界集落美術館と
しては それだけ
でもありがたいニヤ



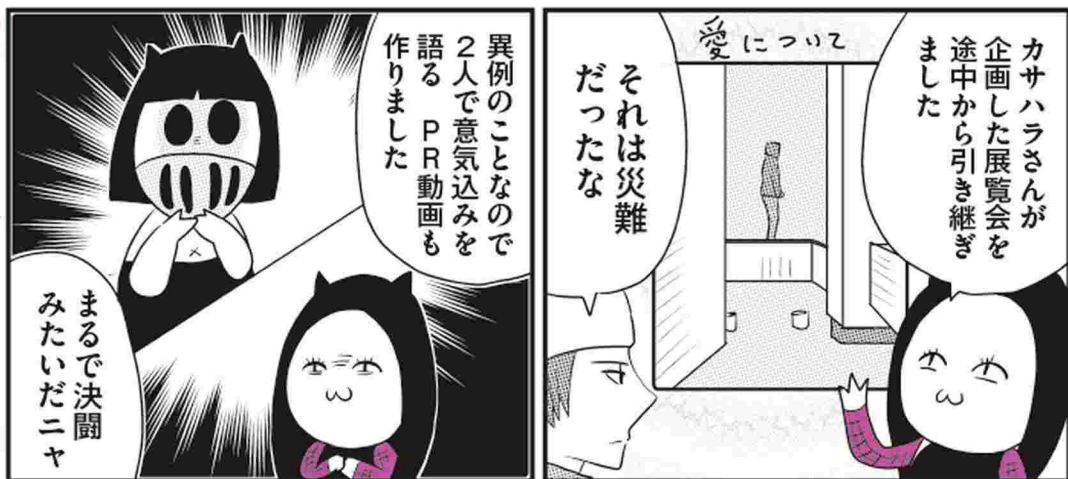
初登場・
ヤマダ学芸員

カサハラさんが
企画した展覧会を
途中から引き継ぎ
ました

それは災難
だったな

異例のことなので
2人で意気込みを
語る PR動画も
作りました

まるで決闘
みたいだニヤ



ゆ^ゆく^く人^{ひと}来^{きた}る^る人^{ひと}、T^とO^おP^ぱに^に若^{わか}い^い季^き節^{せつ}が^が到^た来^{きた}だ^だニヤ^や。



ヤマダ学芸員
TOP最年少学芸員は、
千草嶺出身の落花生嬢。



和津山春雄
TOP最年長学芸員。
我が辞書に重宝なし。



関羽
TOP普及係員。
ヤマダより年上たニヤ。



カサハラ (特別選) フリリスト、美術部副部長、TOPの元帝。

春雄が関羽が新任と最年少学芸員の苦悩に追いついて

twitter @kuremlin



そいう前振り
じゃないのか

オレが
やる
いいや
オレが
オレが

でもカサハラさんの
仕事を引き継ぎたいと
いう人は大勢いるので
身に余る光栄です



プレッシャーに
つぶされそうです

TOPに入って
すぐに女帝の後釜
とは大変だニヤ



スズキヨシコ学芸員に指導
を受け、カネコ元学芸員の
お手伝いをして
カサハラさんには人生の
相談に乗ってもらったり

TOPの洗礼
いや英才教育
だニヤ



最初は学生時代の
インターンでした

ヤマダ学芸員は
どういう経緯で
TOPに入った
ニヤ?

YOUは
どうしてTOPに?



よく逃げ出さ
なかつたニヤ

コレがアレぞ
アーゴゴで
あとは好きに
やんがさー

採用即カサハラさんの
企画を担当することに
なったものの、引き継ぎ
期間はたった1日



その時は
カサハラさんの勇退
を知りませんでした

やっぱり
TOPで
働きたー!!

やがて伊豆の写真美術館
に就職後、TOPの求人
を知り、採用試験を受け
ました

IZUMI美術館も
たっ!!

このニヤフ画は? ◆週刊「モーニング」(講談社) 発あっちこっちの漫画家&コラムニスト・カレ・沢薫不滅のデビュー作『クレムリン』出張版だニヤ。ニヤオ(なお)、来年2月には某社からの新刊発売を記念して都内でイベント開催決定との噂。詳しくは追ってまただニヤ。





12月1日(土)よりイトウ学芸員企画「日本の新進作家展」の「小さいながらもたしかなこと」展開催！小さいながらもたしかなことってなんだニヤ？詳細は www.topmuseum.jp をば!!

カサハラ女史から
引き継いだのは
どんな展覧会だニヤ？

アジアの女性作家
6名による
グループ展です

カサハラさんの企画
段階では5名でしたが
私の発案で もう1名
選びました

唯一の日本人作家



須藤 絢乃

5人でも大変なのに
自分で自分の首を
絞めたニヤ



作者紹介。1980年代、日本国某県生まれ。モーニング(講談社)主催の新人賞に「無題」で応募した作品が落選ほぼ即連載決定。自ら「クレムリン」と改めカルトな好評を博し現在あっちこちで自転車操業の大活躍中。

5名は海外在住なので
韓国やNYに行つて
直接やりとりしました

マイネーム
イズ
ヤマダ

いきなりハードで
グローバルだニヤ

でも1人だけ1回も
お目にかかれない
ままです(※9月現在)

電話に
出ぬ...

アーティストには
自由人も多いからな
(※個人の感想です)

カサハラ女史から
横やりだらけだった
んじゃないのか

あたしの
展覧会よ

いつも遠くから
そつと見守つてくれ
ましたが...

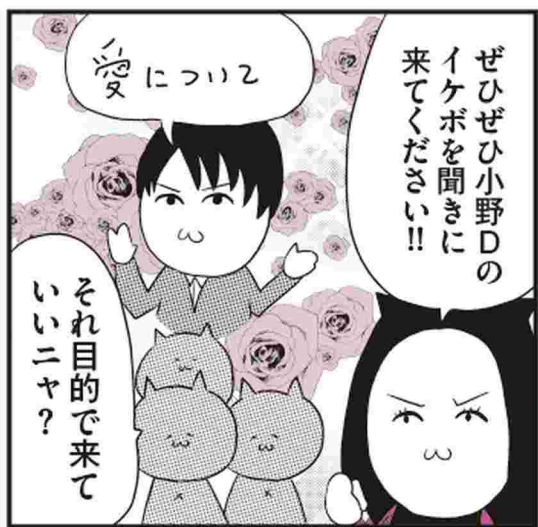
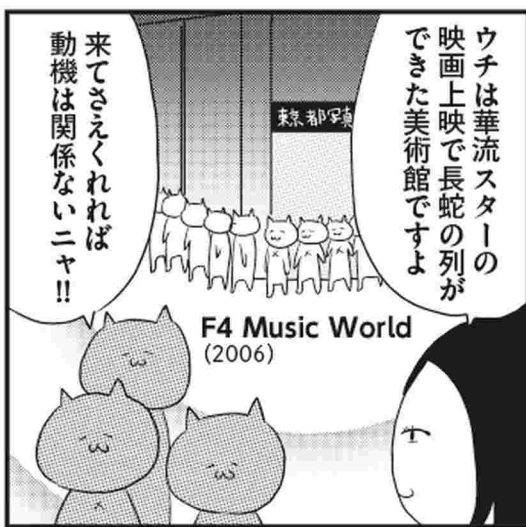
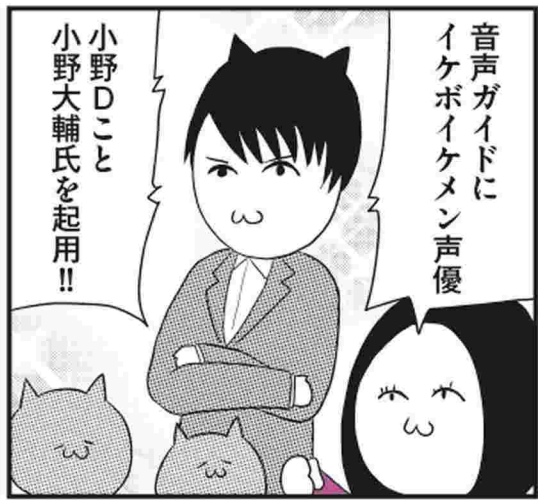
一つだけ強く
言われました

私の魂を受け継ぎ
自分の色を出しな
さい!!

めちやめちや
ハードル高いニヤ



編集部だより◆ニヤズをお読みの方にはおなじみのカサハラ女史は写真美術学芸員界の長嶋茂雄であり、その企画を引き継ぐということは、ある面、ムリヤリ巨人の監督を引き受けさせられた高橋由伸のようなものですが、ヤマダさんガンバレと鐘や太鼓を打ち鳴らしたいと思います(F)



東京都写真美術館ニュース別冊「ニヤイズ」95号●発行日：2018年11月21日●企画・編集：東京都写真美術館事業企画課普及係●発行：公益財団法人東京歴史文化財団 東京都写真美術館 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 www.topmuseum.jp ●本誌掲載の記事、漫画の無断複写、複製、転写を禁じます。Copyright © Tokyo Photographic Art Museum *この漫画は取材を参考に構成されたフィクションです (協力：講談社モーニング編集部/デザイン：田中秀幸 Double Trigger)